

木馬会会報 (第28号)

＊天皇賞・春特集＊

～木馬達の予想～

本誌 TP

皐月賞はジュニインを一応本命にしたがあまり自信はなかった。前走内にもたれてい
たし、まだ気性が子供だと思っていた。左回りのダービーでこそ自信の本命にしようとお
もっていたのが勝ってしまった。しかもピッタリ折り合って、最後はうちらち沿いを通る
ことでもたれるくせも見せずに。思った以上に成長しているし、そこには岡部がつきき
りで調教をつけて、しかも最高の騎乗をした事実も忘れてはならない。先週の提言通り、
岡部が怒った。岡部が本気である。ダービーも迷わず本命に推す。

天皇賞・春

◎…インターライナー ○…タマモハイウェイ ▲…エアダブリン

△…ワンダフルタイム、ハギノリアルキング、ステージチャンプ、ゴーゴーゼット

～予想者の屁理屈～

休み明け・Aダブリン。確かにこの相手なら実力は一枚も二枚も上であろう。しかしこ
の主役は押し出されてのものだということを忘れてはいけない。ブライアンが阪神大賞典
で圧勝した時、これで本番は2着争いといわれていたことを思い出せ！あたりまえだ。一
月のダイヤモンドS以来の実戦。元々がたたき良化型。重賞2連勝とはいえその相手は鼻
糞。それなのに本命にするのは、皐月賞のダイタクテイオーより危ない。もちろん勝つだ
けの実力はあるし、こういう混戦は皐月賞でわかったとおり騎手の腕が物を言うので単穴
より下には見れないが。

さて、本命はここに来てめきめき力を尽けてきているIライナー。その馬体重を見ても
本物になってきたと取れるだろう。スタミナの豊富さはAダブリンにも引けはとらない。
勝ち切れるほどの力はないかもしれないが、順調度、騎手、距離適性と、2着までにくる確
率の一番高いのは紛れもなくこの馬である。自信をもって本命に推す。

さて対抗だが、人気薄Tハイウェイを取り上げる。ハギノリアルキングが人気を集めそ
うだが、前走、これよりも強い競馬をしたのがTハイウェイである。リアルキングは理想
通りの競馬をしてやっとこの2着。早めに進出して3着になったこの馬と人気ほどの実力
差はないはず。1月に調子を崩した後徐々に調子をあげており、父譲りの追い込みが決ま
るかもしれない。

今回鍵になるのは、実力的に抜けているAダブリンが休み明け、それ以外は横一線とい
うことである。思い込みはいけない。今現在のスポーツ新聞などに惑わされるな！馬柱の
3、4戦前迄見てみればいい。インター、ゴーゴー、サクラ、ステージ、タマモ、ハギノ、
ワンダフルと差がないことに気付くはずだ。ならば狙え。ちなみに、基本的の中距離馬で
あり、ばかの一つ覚えで4コーナー先頭に立つSローレルは最後まで持たない。ライスシ
ャワーははっきり、終わっている。これもリアルシャダイ産駒の宿命である。かなりつく
なら買うだろうが予想上は上記7頭にしておこう。タマモ。昇級戦で穴を開けることが多
い、底力あるブライアンズタイム産駒のワンダフル。時々ポカをやるが2400で凄い切れ味
を見せたゴーゴーも乗りかた次第ではこの距離でも。この人気薄3頭が絡めば万馬券も夢
ではないはず。

さて、今週の提言は、

横一線!!

競馬を始めて初めて皐月賞をリアルタイムで見なかった。このペースがいいのかもしれ
ない。 現在の回収率：72.8%

予想者 へな

天皇賞 (春)

◎…エアデブリン

○…インターライナー

▲…ダイイチジョイフル

△…サンライトウェイ

(左の4頭によるボックス
買いで今回は勝負です。)

…予想者の屁理屈…

お久しぶりです。先週は、決算のために“へなへな”な状態だったので、お休みさせていた
だきました(印はつけましたが)。今週は、両重賞とも自信度200%なので期待して下さい。
(軽く聞き流してくださっても結構です。その方が良くかも。)

天皇賞(春)といえば、G Iの中でも最も権威のあるレースの一つと言えます。となれば当然、勝てる馬(勝っても納得する馬)はライスシャワーとエアデブリンの2頭しかいません。ライスはどうも最近の成績や調教がパッとせず、いつ変わっても不思議ではないのですが、やはり大一番では本命にはしにくい。そうなるともうエアデブの独壇場でしょう。長距離の成績は今更言うこともなく、神様仏様岡部様の2週連続G I制覇はほぼ確実でしょう。断然の本命馬です。(買い目でボックスにしたのはあくまでも保険ですのであしからず)
相手は絶好調インターライナーが1番手で、面白いのはロバーツ・ジョイフルとサンライトウェイの2頭。

勝負はこっちだ京王杯 S C

◎…イナズマタカオー ○…ビッグショウリ ▲…ボディーガード
△…ダンシングサーパス △…トワードーリン △…ホクトベガ

…予想者の屁理屈…

天皇賞よりも自信があるのはこっちの本命イナズマタカオー。安田記念でも勝負しようという馬だけに今回はまずとりこぼすまい。自信度300%(3%の間違いじゃないの by X)。総流ししてもいいよ。

予想者 覆面デスラー

天皇賞(春)

まず皐月賞を振り返って。やはりタヤスツヨシは強かった。馬券ははずしたがダービーもツヨシ君と心中することにしたい。相手はタモンヤグラ君とIインターハイ君あたりになるでしょう。

そういえば若葉Sではタヤスツヨシとジェニユインの1点勝負で玉砕したっけ。本番で千円も買わなかった自分が情けない。さらに極めつけは一昨年の桜花賞でアドラブルとサンエイサンキューを買って玉砕したところ、オークスでは同じ組み合わせでマンシュウになり、悔しい思いをしたものだ。さらに条件レースでは数知れず…よくこういうのがあるだよな。一度こなかったからといって切ってしまうのはいけないとは承知しつつも、すぐにその法則を忘れてしまう。だからタヤスツヨシホッカイルソーも押さえておこうか。

もしや天皇賞でも同じことがありうるのでは?と思う今日この頃。日経賞ではインターライナーとワンダフルタイムで勝負をして玉砕したので、この組み合わせも買おうかと思うが、ワンダフルタイムはG Iでは各下だものな…(ブツブツ)

ナリタブライアン回避で、がぜん面白くなってきた天皇賞(春)。しかしメンバーを見渡すとG IIIでも勝てない馬を含めたG II級のメンバー中心のレースと言え、有力馬もかなり絞れそうである。

まず中心視したいのは、長距離の重賞を連覇してきたエアダブリン。中間順調さを欠き、不安視する声も聞くが、G II級のこのメンバーの中では唯一のG Iで善戦してきた馬であり格から言っても負けられない一戦。“ダブリン不安一掃”とのゲンダイ情報も心強い。

次に明け5才、充実一途のインターライナー。菊花賞6着から明らかに実力がついており、鞍上もリーディング横山典。関東馬のわりには、京都コースの実績も豊富。問題は58Kの斤量克服のみか?皐月賞のジェニユインに続き関東馬のG I連続制覇に期待したい。

次に押さえたいのは、ゴーゴーゼット。重賞連覇後前走は期待されたが、出遅れで全然競馬をしていなく、直線だけの競馬、その追い込みには目を見張るものがあった。どうやらこの馬には距離が短すぎたようだ。ただし年明け4戦しているのが気がかり。前走の着外で人気もガタ落ちになるだろうし、好配当が期待できよう。この3頭のボックス買いでいくことにする。

ライスシャワーは前2走を見ても全盛期の勢いがなく、いくら期待をしても金の無駄である。ハギノリアルキングは目黒記念で重賞初制覇し、前走もブライアンの2着、武人氣が相まって人気になりそうだが、昨年暮れに使い出して以来、調子のピークがもう過ぎていることは、阪神大賞典時の予想で筆者が述べた通り、こいつもいらない。

アグネスパレードは伏兵馬が斤量に疑問のある中で、56Kは既に克服済みであり、牝馬は不利と承知しつつも一応押さえておく。ステージチャンプは、プリンカーをつけるのにつけないの、何かとゴタクの多い馬だが2走連続で好走したためしがない。しかし菊花賞2着の実績は、ややもすると“隠れ京都巧者”かもしれない。クリスタルケイは逃げ馬不在のメンバーでノーマークの逃げがはまると、ややもすると逃げ切ってしまう恐れ有り。サクラローレルは長距離に不安な小島太が鞍上のため馬券は買わないが、金杯のような展開になるとメンバー的に“ややもすると”があるかもしれない。この4馬に△を打っておく。

◎エアダブリン

○インターライナー

▲ゴーゴーゼット

△アグネスパレード、ステージチャンプ、クリスタルケイ、サクラローレル

予想者 ラッキー

◎…インターライナー ○…エアダブリン ▲…ハギノリアルキング

×…サクラローレル、ステージチャンプ、ダイイチジョイフル 終…ライスシャワー

～予想者の屁理屈～

最初にして最後、そして最大のG 奪取のチャンスがやってきたエアダブリンに2週連続の岡部マジックが後押しするか。はたまた菊花賞の再現となってしまうか。

予定者 四国の井端

TPさん、覆面レスラーさん皐月賞的中おめでとうございます。ジェニユイン本命の私もの中といきたかったのですが、同じ青い帽子のオートマチックの方が2着なら……。一応梓蓮は抑えたので傷は浅かったです。それにしてもナリタキングオー、トウショウフェノマと相次いだ出走取り消しは購入意欲をそがれてしまった。ナリタは大カモ、トウショウは狙い馬だったのでほんとうにガックリきてしまった。

1～3月は通算85%の回収率で良かったのですが、クラシックが始まった4月はやっと60%というありさまで不調です。それでもタイム分析は一応の力を発揮している。力を発揮するのはとにかく全馬が勝利を目指す4才戦で、特に400万クラスが好調です。また、皐月賞では関東と関西の古馬500万クラスの差はないことが証明されたと思います。ただ、タイムにばかり頼っても古馬戦ではなかなか当たりません。不調の原因はタイム分析重視で古馬の特別戦でやられていることです。したがって、天皇賞ではタイム分析は行わず、PR JCT(プロジェクト)評価値重視で予想します。

今週は気分転換に散髪でもして、G I連敗に終止符を打つことにしましょう。

天皇賞

◎インターライナー ○ハギノリアルキング ▲アルゼンチンタンゴ

△ライスシャワー △エアダブリン △ステージチャンプ

天皇賞も主役不在で混沌としている。このレースはPRJCTDで検討しました。

PRJCT評価について説明しますと、

P: PERFORMANCE (実績)、R: ROTATION (ローテーション)

J: JOCKEY (騎手)、C: CONDITION (状態)

T: TRAINING (調教)

D: DISTANCE (距離; 長距離の場合しか使わない)

となっており、P以外は全て自分の主観で数値を出します。これを合計して、減点分を算出して比べる訳です。あのナリタブライアンでさえ満点の時はありませんでした。

インターライナー	0.40	絶好調ヨコテン(横山典)に期待
ライスシャワー	0.40	過去の栄光が通用するか?
ハギノリアルキング	0.45	小林稔厩舎の一発
エアダブリン	0.60	どうも伊藤雄厩舎の仕上げは疑問がある
ステージチャンプ	0.70	調教抜群、特注馬
ヤシマソブリン	0.75	人気倒れしそう
ワンダフルタイム	0.80	塩村騎手の秋春連破がかかる
アルゼンチンタンゴ	1.25	点は低いが大抜擢したい馬

予想の目が評価点と少し違っています。春の天皇賞は堅いのが普通ですが、今年はまったく混沌としている。堅いと思えば上位3頭のボックスでいいが、敢えてライスシャワーを外してみました。おそらくライスは予想以上に人気するでしょう。

天皇賞と言え、『オー』とか『キング』とかが注意馬ですが、それよりも強力な馬がここにはいるのです。それがアルゼンチンタンゴです。評価点では最下位に近いのですが単犯に大抜擢します。『チン=朕』、「我は天皇であるぞ!!」もし、前走1人氣で圧勝して7連勝していれば断然人気になったはず。荒れる天皇賞の主役はこれだ!!

京王杯スプリングC

◎トーヨーリファール	0.60	芝でも走る。
○エルウェーウィン	0.60	久々の勝利といかないか。
▲ホクトベガ	0.35	昨年、日本馬最先着の実績一番
△イナズマタカオー	0.60	左回り巧者?今度は追い込む
△エンペラージューズ	0.80	武よりロバーツの方がいいかも
△トワードーリン	0.70	1400mはあまり実績がない

GIIになればいくら短距離でも実績馬が強い。GI馬エルウェーウィンとホクトベガが特注馬だ。外国馬のレベルは低いし、距離的にも安田記念が狙いでここは試走的な意味合いが強いので調教でよかったエンペラージューズ以外は消し。

トーヨーリファールには今年ほんとにお世話になっている。木馬会で本命にして2回とも連対している。ここでも本命にしましょう。

それと、今年の東西の金杯の出目、1、3、6枠を大事にしましょう。京王杯スプリングCと2つも杯があるレースで金杯の出目が絡むはずです。

さらに、四国の井崎のマル秘情報。ただし秋まで覚えていて下さい。秋の京王杯には、春の京王杯の出目が絡みません。これは最近10年間続いているデータです。

予想者 ミスターX

天皇賞

◎…エアダブリン	○…ヤシマソブリン	▲…インターライナー
△…ハギノリアルキング	△…ステージチャンプ	△…ライスシャワー

迎えて111回目の今回の天皇賞は混戦と言われているが、そんな時に限って堅く収まるのが競馬というものである。

そんな事を思いつつ対抗にソブリンを持って来るから勝てないんだろうな~。

今回は、鼻に何が行くか検討し難いので何とも言えないが、取り敢えず岡部様を信用してみる。

休み明けを不安材料としてあげている者がいるが、そんな事は心配無し。

きっと、人馬共に究極のステイヤー振りを発揮してくれる事だろう。

展開的にある程度前で競馬が出来ないと勝負にならない筈なので、最後の直線での足比べになればソブリン有利な気がする。

ただ直前の骨瘤発症が不安材料だが、幸いな事に軽度なものらしいので予想通りに私の天皇賞はこれで臨む。

京王杯SC

◎…ダンシングサーパス	○…エンペラージューズ	▲…ボディーガード
△…ビッグショウリ	△…トワードーリン	△…マチカネジンダイコ

トウインクルダンディの予想

天皇賞(春)

◎ ハギノリアルキング
○ インターライナー
▲ サクラローレル
△ キソジゴールド、タマモハイウェイ、エアダブリン

今回の1番人気が予想されるエアダブリンとナリタブライアンの菊花賞での着差は8馬身。前走のハギノリアルキングとナリタの着差は7馬身。そこで狙いは天皇賞男武豊が鞍上のハギノリアルキング。昨年からの成長力、血統、順調度、ローテーションからも最も期待したい。対抗にはインターライナー。こちらも嵐山2着、菊花賞6着時から着実に成長。菊の時点でのエアとの着差をはねかえす十分すぎるほどの成長度と私は考えているし、乗れる横典、ローテーションもやはり魅力だ。サクラローレルは小島太の風車ムチのファンである自分としては本命にしたいところだが、決め手の甘さ、メンバー構成からみて

▲が妥当なところか。他に狙い所としては阪神大賞典組からキソジゴールド（出走できればだが）とタマモハイウェイ。前走はともにハギノからは1馬身差。長距離戦とはいえまくりのきく京都外回り、有力馬が早めにしかけたときにはキソジ、タマモの一発も……。エアは多少順調さを欠いた点が気になるので評価を下げるが、やっぱり岡部君は岡部君ということで掲示板には載るだろう。印はつけていないが、怖いのはスローペースになったときのアグネスパレード（鞍上は京都の鬼河内）。スタミナがもつ流れなら……。

2週続けて地方馬の中央挑戦は跳ね返され、帝王賞も中央馬にとられて（ちなみに2～9着は地方馬）はいますが、私はそれでも地方馬が好きです。オークスではきっとライデンリーダーが巻き返してくれると信じています。

予想者 メニーフレンズ

社台の逆襲

- ◎ ステージチャンプ
- アルゼンチンタンゴ
- ▲ ライスシャワー

競馬に限らず、あらゆるスポーツに共通する必勝法…それは勢い（人によっては「運」ともいう）である。

その観点から今年のG1路線を見るとある一定の勢いが感じられる。

サンデーサイレンス？いや、そのキーワードは「社台」である。そう、賢明な読者であれば桜花賞2・3着馬及びさつき賞1・2着馬（フジキセキを含めれば3着馬も）が社台ファーム生産馬ないし所有馬であることに気付くであろう。

思えば不思議なことに血統・育成どれをとっても日本一といってもよい社台が、ここ数年来、特に牝馬クラシック戦線において不振を続けてきた。それは正に目に覆うばかりであり、それが古馬G1路線にも影響を及ぼしてきた（牝馬クラシックにおいては、ベッヤツウンクルブライドが気を吐いていたが）。まさに評論家の某清水氏（私は少しも評価していないが）の数年前（ダイナコスモスーさつき賞、ダイナガリバーダービーの時）の予言が的中してしまったのである。

しかし、おととしの御大吉田善哉氏の死亡によって、ようやく危機感をもった社台ファームは、ようやく本気を出してきたのである。

先週の皐月賞はケガによるNキングオー、そして当日のTフェノマの出走取消というハプニングに、オウムによる厳戒体制が重なったためか、渋谷WINSはあまり混んでいませんでした。

今回はNブライアンの不出走ということで軸馬を探すのが大変で、でも結局絞り切れなかったのよねー。今回はスポーツ新聞に躍らされないようにしよう。

ところで土川さん、ご結婚おめでとうございます。結婚なさっても、馬は続けられるそうで、奥さんに愛想尽かされないようにお仕事頑張ってください。

P. S. 私、投稿名変えようと思っているんですが、何かいいのいないですかー。

b y ジュワイヨクチュール

今週号より、さらに一人準会員が増えまして（文書課・斎藤さん）、12人の予想者になりました。今後し烈な戦いが予想されます。さらに人数が増えるようだと紙面の都合上、成績の悪い予想者は割愛される可能性もあります。皆さん気合をいれて予想しましょう。

木馬会会報はここで一服いれまして、2週間休刊します。次号は安田記念特集で、5月12日発行とします。皆さんゴールデンウィークで英気を養ってください。

第111回 天皇賞・春

20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
	ワンダフルタイム	ライスシャワー	ヤマニンドリマー	ヤシマソブリン	メイショウレグナム	ハギノリアルキング	タマモハイウェイ	ダイイチジョイフル	ステージチャンプ	サンライトウェイ	サクラローレル	ゴーゴーゼット	クリスタルケイ	キソジゴールド	エアダブリン	インターライナー	イイデライナー	アルゼンチンタンゴ	アグネスパレード	馬名
	△					△	○		△			△			▲	◎				T P
								▲		△					◎	○				へなりん
									△		出	▲	△		◎	○			△	覆面デスラー
		▲				◎									○					ナニワのラッキー
		◎				△					走	○			△	△		△	×	Y O
		終				▲		△	△						○	◎				ラッキー
	▲					◎		△		△	回					○				ジュワイクチュール
		△				○			△						△	◎		▲		四国の井崎
		△		○		△			△		避				◎	▲				ミスターX
						◎	△							△	△	○				トウインクルダンディ
		◎		×		▲		×	△						○	△				おけらくん
		▲							◎									○		メニーフレソス

天秋 菊花 11女 マ10C J C 阪牝 朝日 ス7°S 有馬 桜花 皐月 天春 安田 オークス 優駿 宝塚

TP	○	○	○	◎	○	○	◎
へなりん	○		○		○	○	○
覆面デスラー	○		○			○	◎
ナニワのラッキー	○	○			○	○	
Y O	○	○	○			○	
ラッキー	○	○	○		○		
ジュワイクチュール	○	○	○		○		
四国の井崎	○		○			○	
ミスターX			○			◎	
トウインクルダンディ		○			○		
おけらくん							
メニーフレソス							

○…～20倍 ◎…20～50倍 ☆…50倍～